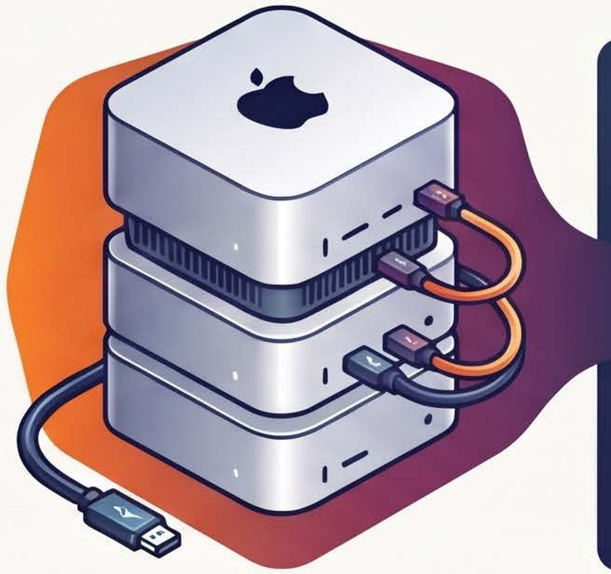
Muse Spark Openが変革する企業知財戦略：完全ローカルで実現する「知財AIトリレンマ」の解消

従来課題「知財AIトリレンマ」



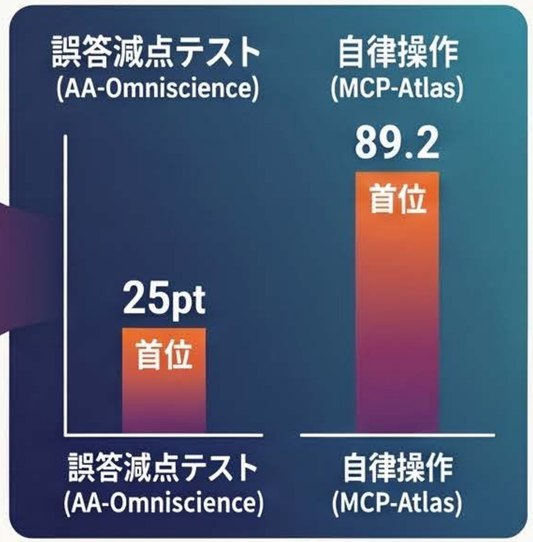
「機密性」「推論深度」「コスト」のトレードオフを破綻させる

未公開発明の社外送信リスクゼロ、100万トークン一括処理、低インフラ費用を同時達成。



デスク上の「Mac Studioクラスター」で完全エアギャップ運用

ROMA over Thunderbolt 5により、外部通信を物理遮断したまま100万トークン推論を実行。



知財で致命的となるハルシネーションを強力に抑制し

知財で致命的となるハルシネーション（捏造）を強力に抑制し、複数DBを自律連携。

実務構造の劇的変化

第1世代クラウドLLM（2024〜2025）	Muse Spark Open（2026〜）
明細書作成：要約テキストを分割投入（ドラフトに8〜10時間）	明細書作成：コード・動画・図面をローカル一括投入（ゼロ・チャンキング）
先行技術調査：RAGによる細切れテキスト検索（図面比較不可）	先行技術調査：50〜100件の公報全文・全図面を同時精査し対比表生成
知財DD / 監査：NDA制約によりクラウドへの生データ投入不可	知財DD / 監査：社内エアギャップ環境で全コード・契約書を完全自社監査

知財コア業務における実務パラダイムシフト

発明発掘・ドラフティングの「ゼロ・チャンキング」化



ソースコード一式、開発動画、図面を事前分割せず100万トークン窓へ一括投入。

先行技術・無効資料調査の「全公報・全図面」同時精査



先行技術・無効資料調査の「全公報・全図面」同時精査

50〜100件の特許全文・図面を直接読解し、高度なクレームチャートを即時出力。

Gemini Notebook